

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

西東京市東伏見6-1-28

Tel 042-463-4517

かけはし



学校HP

情報化社会を生きる上で

副校長 齋藤 信之

スマートフォンやタブレット端末が普及し、携帯型コンピュータとインターネットは、もはや必需品となりました。今の子どもたちは、生まれたときからデジタル環境に触れている「デジタル・ネイティブ世代」と呼ばれています。

GIGA スクール構想が実現して早くも 4 年目となりました。一人一台の端末があることで、児童にとっても日常の情報収集が容易になった時代と言えます。しかし、発信者としても手軽に情報を拡散させることができることから、一つ一つの情報の信憑性が問われる時代とも言えます。その情報が本当かどうかを確認するためには、複数の情報源に当たることはもちろん、場合によっては自分で調査することも必要になってくるでしょう。

近年になり、「情報リテラシー」という言葉が聞かれるようになりました。リテラシーとは、「適切に理解・解釈・活用する力」のことです。情報の裏付けを取りに行ったり、モラルに配慮して活用したりする力は、これからの時代を生きていく上で必須となるでしょう。

似たような言葉ですが、「デジタル・シティズンシップ教育」という言葉もあります。これは、新しいテクノロジーがもたらす様々な革新技術に接し、よく考え、必要な能力を身に付けることを目指した教育のことです。「〇〇してはいけない」という禁止のスタンスではなく、このデジタルの世界を生きる市民の一人として、どのような資質・能力が必要か、どのように振る舞うことが善いことなのかを考える、というのを基本的なスタンスとしています。

情報機器を上手に使いこなすことで、受ける恩恵はきっと大きなものになるでしょう。一方で、正しい判断ができないまま使うことによって、身近な人や世の中を混乱させる原因を作り出してしまう危険を含んでいることを、子どもたちも、我々大人も知る必要があります。匿名性の陰に隠れて辛辣な言葉を浴びせることを善しとしない文化を、ぜひとも築いていきたいものです。

★10月 生活目標 「落ち着いて学習しよう」

涼しくなり、様々なことに取り組むのに適した季節になりました。本校では、「自分の考えを発言すること」を意識するよう指導しています。ノートに自分の考えを書いていても、「間違えたらどうしよう。」「恥ずかしい。」等と発言を控えることがあるようです。全ての子どもたちがのびのびと発言できる学級づくりや工夫をした授業になるよう各学級で指導してまいります。

生活指導部



